

## 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	障害児入所施設 清明あけぼの学園
------	------------------

# 福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和2年9月2日・3日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 大分県福祉会 障害児入所施設 清明あけぼの学園	種 別：障害児入所施設
代表者氏名：理事長 有松一郎	定員（利用人数）10名（10名）
所在地：〒870-0823 大分市東大道2丁目3番3号	
TEL：097-546-3771	

④総評

◇評価の高い点

・法人全体の課題として、養育等の支援を支える有能な人材育成を図るために、「法人働き方改革委員会」を立ち上げ、まずは職場の課題等の問題点を協議し、職場環境の改善に取り組んでいる。当施設も「中期事業計画」を策定し、働きやすい職場づくりや、利用者への質の高い福祉サービスが提供できるよう取り組んでおり、改善する文化が醸成されている。

・「友情の蛍」は約50周年も竹田市の小学校と暖かい交流が続いている。地域の方々が当施設の児童に蛍の光を見てもらうだけでなく、児童のために蛍を1年間掛けて育てる気持ちが、児童に対する「思いやり」・「心づかい」の絆として定着している。

・理念の中で4つ項目を掲げ、それぞれに児童への適切な支援について具体的に文書化されている。さらに、中期事業計画を策定して、福祉サービスの質の向上・働きやすい職場づくり、施設の機能強化等を掲示して、計画的に取り組み、施設としての基盤強化に取り組んでいる。

【利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。】

利用者の権利擁護のため、虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応等の徹底については、2年度に渡り園内研修において、講師を招いての講習を行うなど、継続的に利用者に権利侵害の防止等に関する取組を行い、徹底化を図っている。

【利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。】

利用する多くの児童が、養育・支援に関する情報が少なくないこともあり、施設においてアセスメントを行い利用者の自律・自立生活のための個別支援計画の内容及び同計画にもとづく具体的な支援の実施を行っている。

【子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。】

学校、児童相談所との連絡会を必要に応じ、発達支援を行っている。法人が経営する保育園との交流も行い年齢に応じた支援を行っている。

◇改善を求められる点

・家族などへの事業計画の内容の周知徹底について、課題を抱えている家族が多いと示唆されるが、主な内容などの周知・説明などを家族に理解していただくよう工夫することを期待する。

・児童のプライバシー保護については、「他人の干渉を許さない、各個人の私生活上の自由」のことを尊重しているが、児童の特性に配慮し、主体的に責任が持つて社会生活が過ごせるよう支援することを期待する。

【利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。】

施設一階共用部分掲示物の取り付けについては、画鋲が一部掲示板に使用されている。画鋲を使用する場合は、画鋲が外れても利用者等に刺さらない画鋲の導入を検討されたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、初めての受審にあたり、丁寧なご指導・ご助言をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、今回は、自己評価するにあたり、打合せの時間を設け、職員間で意識を深めることができました。特にこれまでの取組を使命や理念、事業計画等と結びつけて整理することができ、課題や強みが明確になったことの意義が大きかったです。また、支援における様々な創意工夫を評価いただき自信にもつながりました。

清明あけぼの学園は、児童一人ひとりの障がい特性に合わせたソーシャルスキルトレーニングの充実と家族支援の充実を重点的に取組んでいます。今後も支援の質を向上させることはもちろんのこと、ご家族や地域にとって施設の担う役割についても検討し、「皆様の最善の幸せを求めて」更なる発展を目指していきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）